



事業活動報告

令和7年度 合同例会

2025年10月08日

一般社団法人 日本非破壊検査工業会

JANDT

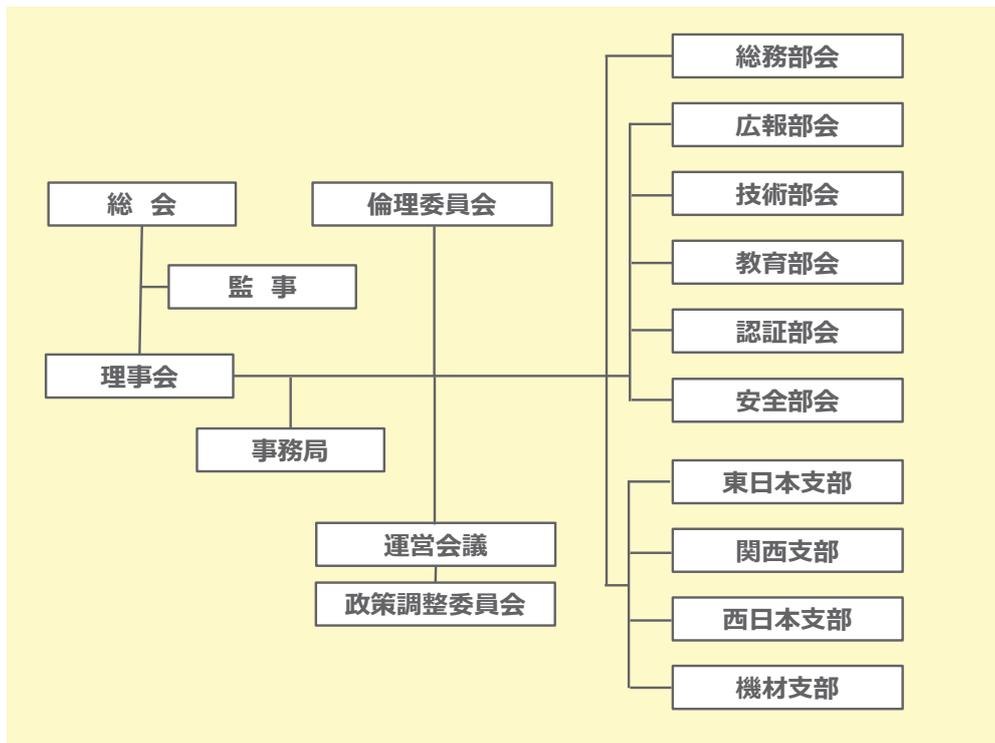
1



本部報告

JANDT

2



活動組織

組織と運営

役職名	氏名	所掌
理事長	長岡 康之	代表理事、全体統括
副理事長	清水 重之	理事長代行（広報、教育、認証）
	堀 充孝	理事長補佐（技術、安全）
専務理事	渡辺 正宏	理事長補佐、常勤、事務局長

役職名	氏名
監事	岡 賢治
	小池 幸洋

支部	支部長	副支部長
東日本支部	小田原 勝彦	安田 裕之
関西支部	的場 正文	山中 伸晃
西日本支部	清水 重之	野口 博文
機材支部	堀 充孝	日比 和彦

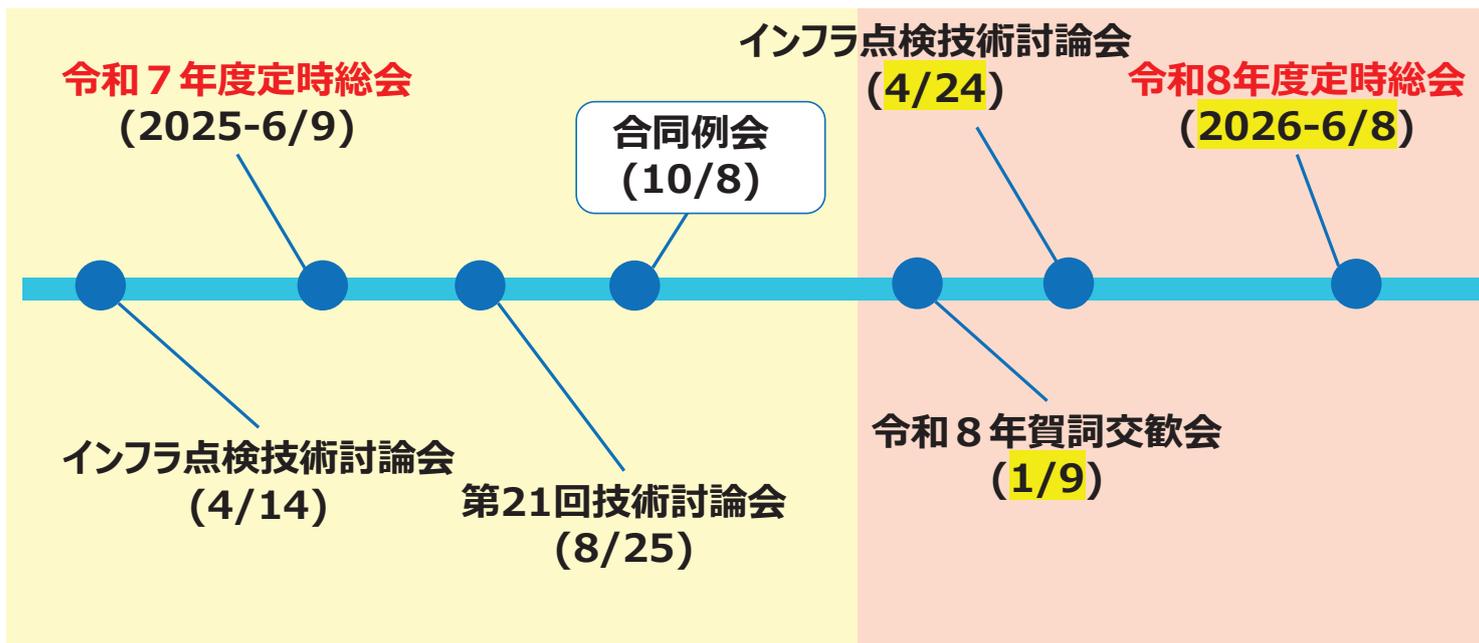
役職名	氏名	
顧問	松村 康人	
	小倉 幸夫	

名称	委員長	副委員長
倫理委員会	堀 充孝	井上 弘嗣

名称	委員長	副委員長
運営会議	長岡 康之	—
政策調整委員会	松村 康人	—

名称	委員長	副委員長
総務部会	長岡 康之	清水 重之、堀 充孝
選挙管理委員会	八木 洋兒	森本 量也

主な年間行事



主な外部団体活動

団体名	委員会等
日本非破壊検査協会	諮問委員会
	ISO委員会
	試験基準委員会
日本溶接協会	溶接検査認定委員会
総務省消防庁	危険物施設におけるスマート保安等に係る調査検討会
危険物保安技術協会	新技術を活用した屋外貯蔵タンクの効果的な予防保全に関する調査検討会
	コーティング上からのタンク底部板厚測定講習
全国危険物安全協会	地下タンク等定期点検実施制度運営委員会
石油学会	設備維持規格委員会（屋外貯蔵タンク）、（配管・設備）
石油化学工業協会	定修会議
労働大学校	労働行政職員の養成研修
日本溶接技術センター	非破壊検査技術講義

政策要望 公明党非破壊検査技術振興議員懇話会 (今年度実績なし)

月日	名称	主催	工業会対応	要望の概要
2024 7/2	公明党政策要望懇談会	兵庫県本部	関西支部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 非破壊検査業の担い手確保のため、厚生労働省「人材開発支援助成金」助成率の更なる引上げ 2. 水道施設の点検項目で近接目視等では調査できない項目に関する点検手法のガイドラインへの明記 3. 兵庫県内トンネル覆工厚さの品質確保のための配筋探査技術者資格と第三者検査の義務化
2024 8/2	公明党政策要望懇談会	大阪府本部	関西支部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 非破壊検査業の担い手確保のため、厚生労働省「人材開発支援助成金」助成率の更なる引上げ 2. 大阪府内トンネル覆工厚さの品質確保のための配筋探査技術者資格と第三者検査の義務化
2024 8/6	公明党政策要望懇談会	北九州総支部	西日本支部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 非破壊検査業の担い手確保のため、厚生労働省「人材開発支援助成金」助成率の更なる引上げ 2. 大阪府内トンネル覆工厚さの品質確保のための配筋探査技術者資格と第三者検査の義務化 3. 県・市町村が管理する土木工事における新技術活用の原則義務化

トピック

経済産業省 補助金 1/2



中小企業の人手不足解消に効果のある「省力化製品」を導入するための補助金

中小企業 省力化 投資 補助金 補助率 1/2



中小企業省力化投資補助金とは、

人手不足解消に効果があるロボットやIoT等の製品を導入するための経費を国が補助することにより、助成で即効性がある中小企業の省力化投資を促進し、売上拡大や生産性向上を図るとともに賃上げにつなげることを目的とした補助金です。

対象製品のリスト(カタログ)に登録された省力化製品から、自社の課題に合わせて製品を選択できます!

「販売事業者」が製品の導入を支援!申請・手続もサポートします。

補助率は1/2!補助上限額は従業員数ごとに異なります。

厚生労働省 補助金 2/2

● 補助対象となる事業
 人手不足の中小企業などが、省力化製品を対象製品のリスト(カタログ)から選んで導入し、販売事業者と共同で「労働生産性 年平均成長率3%向上」を目指す事業計画^{※1}に取り組みものを対象とします。
 申請時に全ての従業者の賃金が最低賃金を超えていること、補助金の支払に該当しないことなどの要件が満たす必要があります。また、補助金の交付が決定された場合でも事業実績報告の書面によって補助額の減額となる場合があります。

● 補助対象製品のカテゴリ

- ▶ 清掃ロボット
- ▶ 配管ロボット
- ▶ 自動倉庫
- ▶ 検品・仕分システム
- ▶ 無人搬送車 (AGV・AMR)
- ▶ スチームコンベクションオープン
- ▶ 販売機
- ▶ 自動チェックイン機
- ▶ 自動精算機
- ▶ タブレット型給油許可システム
- ▶ オートペラー
- ▶ 飲料補充ロボット
- ▶ デジタル紙面色校正装置
- ▶ 測量機 など

● 補助率と補助上限額

従業員数	補助率	補助上限額	補助事業実施期間に一定以上の賃上げを達成した場合
5名以下	1/2	200万円	300万円に引き上げ
6~20名		500万円	750万円に引き上げ
21名以上		1,000万円	1,500万円に引き上げ

補助率の引き上げを適用する場合、事業終了時に①給与支給総額+6%以上かつ、②事業場内最低賃金+45円以上とする計画を策定し申請する必要があります。

● 申請から事業完了までの流れ

事前準備、応募・交付申請
 公募スケジュールは下記ホームページをご確認ください。

補助事業実施期間 (12ヶ月以内)

効果報告期間 (5年間)

中小企業のみならず、販売事業者との連携

省力化製品の導入

事業計画の達成を目指す取り組み

事業実績報告の提出

補助金の交付決定・補助金の交付

効果報告の提出 (毎年)

● 製品の採用状況
 ● 生産性の向上状況^{※2}
 ● 賃上げ状況

● 導入製品の設備確認^{※3}
 ● 導入効果の確認

本補助金の詳細や対象製品のリスト(カタログ)、公募要領などはこちらから
 中小企業省力化投資補助事業ホームページ <https://shoryokuka.smrj.go.jp/>

お問い合わせは、中小企業省力化投資補助事業コールセンターまで
 ※お申し込み・お申し込みの補助料(※)よりご質問をください。

ナビダイヤル **0570-099-660** (受付時間：9:30~17:30/月曜~金曜(土・日・祝日除く))
 中電研などからのお問い合わせ **03-4335-7595**

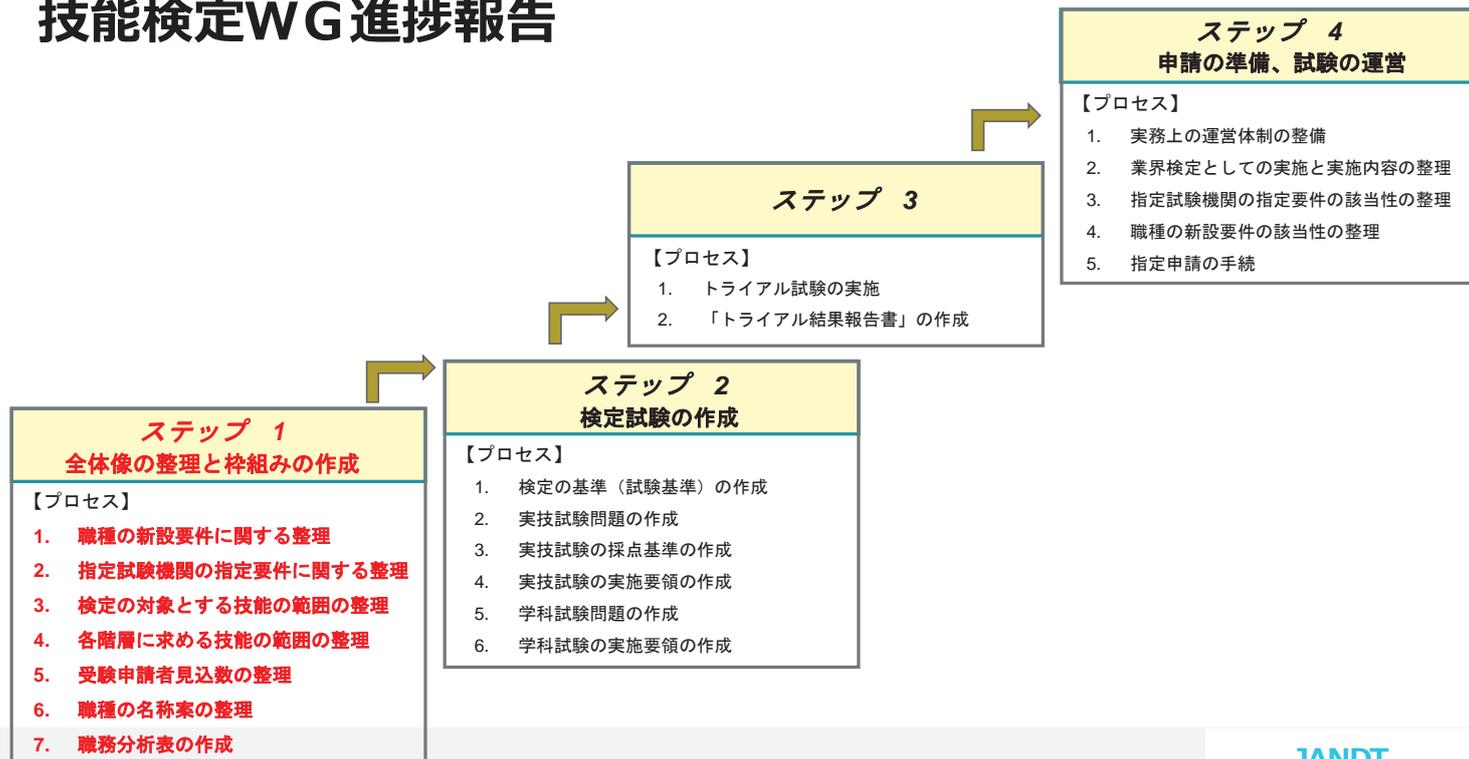
全道府県に、インフォメーション窓口を設けています。詳しくは上記ホームページをご確認ください。

製品カテゴリ登録依頼状況 経過報告

2025年9月22日現在
事務局

依頼があった製品カテゴリ	依頼社数	検討すべき事項
鉄筋継手探傷器	2社	申請書中(修正あり)
フェーズドアレイ超音波探傷器	5社	省力化定義(協議中)
ポータブル超音波探傷器	4社	省力化定義 (申請資料作成中)
デジタルX線システム	1社	省力化定義 (申請資料収集中)
ポータブルX線発生装置	1社	該当機能(軽量)の定義 省力化定義
X線フィルム自動現像機	1社	該当機能の抽出 (メーカーが抽出中)

技能検定WG進捗報告



JANDT

検定の対象とする技能者の整理（イメージ素案）

対象 コンクリート構造物の配筋探査技術者（土木・電磁波レーダ法）
 コンクリート構造物の配筋探査技術者（土木・電磁誘導法）

等級の区分と技能検定試験の合格に必要な技能及びこれに関する知識の程度

等級	技能者像
1 級	2 級合格者であり、かつ「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領」（国土交通省）に基づく測定ができる資格。（←国土交通省への要望が必要） 合格者は、現場責任者レベルの技能を有するものと判断する。
2 級	3 級を合格した人が次のステップアップのために取得する資格。 合格者は、一般の配筋探査の実務ができる能力を有するものと判断する。
3 級	配筋探査業務に従事しようとする人がまず 最初にチャレンジ する資格。 合格者は、具体的な指示に基づく作業手順ができる能力を有するものと判断する。

資格の名称（案）2 候補あり

1. コンクリート探査技能士
2. 配筋探査技能士

JANDT

スケジュール（案）

項目	実施項目	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
方針決議 (予算措置)	総会			▽技能検定制度の件		
	理事会			▽総会議案&予算承認		
厚労省相談		▽マニュアル 入手	▽厚労省確認			「職業能力開発促進法第47条第1項に規定する 指定試験機関の指定に関する省令」改定
ステップ1	全体像の整理と枠組みの作成					
	職務分析表整理					
	各階層の技能範囲の整理					
ステップ2	検定試験の作成					
	検定基準の作成					
	試験問題の作成					
	テキストの作成					
	実技試験体の作成					
ステップ3	トライアル					
ステップ4	申請の準備、試験の運営					

JANDT

広報部会



JANDT

組織と運営

部会・委員会・WG	部会長・委員長	副部会長・副委員長
広報部会	日比 和彦	木村 成晴
標準積算資料検討委員会	藤井 富昭	木村 成晴
展示会委員会	松嶋 美乃	—
先端設備評価委員会	日比 和彦	—
編集委員会	埴 晴行	日比 和彦、木村 成晴、渡邊 正宏
仕事の市場WG	砂川 浩一	—

主な活動

部会・委員会・WG	実施項目	概要	頻度		
広報部会	広報部会	登録票	案内～回収・集計	1回/年	
		経営実態調査	案内～回収・調査・集計～報告書	1回/年	
		定期売上調査	案内～回収・集計～報告	4回/年	
		経営交流会	統一テーマの検討～理事会へ提案	1回/年	
		工業会案内	企画～制作～印刷～発送	1回/年	
		会報	企画～制作～印刷～発送	4回/年	→ タイムリーな情報配信 紙⇒デジタル配信化
		ホームページ (HP)	企画～アップデート	随時	→ JANDT魅力の発信
		外部媒体への広告	予算化	1回/年 随時	
標準積算資料検討委員会	標準積算資料	制作～印刷～発送	隔年		
展示会委員会	非破壊評価総合展	企画～運営	隔年	→ 2025年7月開催済み	
	JIMA展	企画～参画出展	隔年		
先端設備評価委員会	生産性証明書・ カテゴリ登録	受付～審議～発行	随時		
仕事の市場WG	工業会119	企画～運営	随時	→ 活動の活性化	

経営交流会

テーマ選定：非破壊検査業界の課題に対する工業会の取組み

- ① インフラ調査士資格を仕事に結びつける近道
- ② 配筋探査資格の国家資格化

講師：長岡理事長

東日本支部	2025年07月23日	実施済
関西支部	2025年09月04日	実施済
西日本支部	2026年01月23日	実施予定

非破壊評価総合展2025 報告

主催：日本非破壊検査工業会
 月日：2025年7月23日～25日
 場所：東京ビッグサイト

【工場・建設】
 メンテナンス・レジリエンス TOKYO 2025
 プラントメンテナンスショー-TOKYO2025 / インフラ検査・維持管理・更新展TOKYO2025 / 非破壊評価総合展2025 / 建設防災・資材展TOKYO2025 土木・建設DX/システム / ツール展TOKYO2025 / 無電柱化推進展TOKYO2025 / 交通インフラ設備機器展 / 国際ドローン展2025

非破壊評価総合展 2025【非破壊検査技術の未来へ】

非破壊検査のデジタル革命とその先の未来へ

定員 70名 参加費 公式ホームページからの事前登録制

7/23 (水)	13:00~13:45 高橋物産技術協会の 企画調査員 主任検査員 伊藤 貴人 題目 屋外貯蔵タンクにおける 非破壊検査のDXに向けた 取り組み	14:30~15:15 青柳建設株式会社 技術本部 安全工学研究所 藤田 淳平 題目 デジタル技術がもたらす 非破壊検査サービス業界の パラダイムシフト
7/24 (木)	13:00~13:45 株式会社シントク 調査課長 課長 佐藤 賢治 題目 走行型赤外線調査車両の 開発	14:30~15:15 愛媛大学 大学院 理工学研究科 理工学専攻教授 中畑 和之 題目 つながる検査、活かすデータ ～ NDE 4.0による 非破壊検査の革新
7/25 (金)	13:00~13:45 一般社団法人 専務理事 木村 嘉富 題目 SIPスマートインフラマネジメント システムにおける非破壊検査技術 の開発と社会実装	14:30~15:15 日本非破壊検査株式会社 生産部副課長 課長代理 齊藤 順次 題目 非破壊検査技術に関する 当社の取り組み ～AI活用事例～

第12回非破壊評価総合展 パネルディスカッション

壊さず語れ、見えない未来の探し方

山本 優一郎
エビデント・インスペクション
・テクノロジー・ジャパン(株)
THK PHS NDT Customs
Solution Japan

奥野 剛子
NDE検査事業部 技術部
NDEグループ

前川 真一
一般社団法人
日本非破壊検査工業会
シニアエキスパート

小泉 圭吾
地球観測 取締役

鎌田 敏郎
大阪大学大学院 工学研究科 教授

三上 浩一
ニム・キュービック 代表取締役

2025.7.25 10:30~12:00

会場：東京ビッグサイト 東5ホール 日本非破壊検査工業会 セミナー会場

主催：一般社団法人 日本非破壊検査工業会

技術部会



JANDT

19

組織と運営

部会・委員会・WG	部会長・委員長	副部会長・副委員長
技術部会	安田 裕之	中村 英之、出牛 利重
標準化委員会	川崎 博義	—
開発委員会	中村 英之	和高 修三
NDI参考問題作成委員会	安田 裕之	—
ETWG	小坂 大吾	安田 裕之
第21回技術討論会実行委員会	鈴木 啓之	中村 英之
労働行政職員の養成研修WG	辻 哲平	—

JANDT

20

技術講習会、受託・講師派遣等

団体名	委員会等
労働大学校	労働行政職員の養成研修（検査業務専門Ⅱ研修）
危険物保安技術協会	コーティング上からのタンク底部板厚測定講習会
	新技術を活用した屋外貯蔵タンクの効果的な予防保全に関する調査検討会
新都市社会技術創造研究会	橋梁の点検並びに損傷の調査手法の高度化に関する研究
日本溶接技術センター	非破壊検査技術講義
日本鑄造工学会	鑄鉄品の超音波試験技術者講習会

主催		名称
機材支部	計測分科会	新入社員のための非破壊検査基礎講習会
	UT分科会	フェーストアルイ超音波探傷器講習会
	UT分科会（後援）	超音波試験による検査適用事例講習会
	技術委員会	NDT特別講座
	技術委員会	NDT塾
	RT分科会（後援）	放射線透過法による検査事例と適用機器講習会

JANDT

21

第21回技術討論会 報告

開催日時：2025年8月25日（月） 10時00分～17時05分

会場：きゅりあん小ホール（JR大井町駅前）

テーマ：石油・電力の保守検査における新たな潮流と新技術

（敬称略）

テーマ	所属	講演者
プラント建設現場における最新検査技術の適用事例	日揮グローバル株式会社	中村 祥平
最近の超音波探傷技術	一般財団法人電力中央研究所	福富 広幸
plantOS®で実現する保守検査DX データ統合と3D可視化で繋ぐ検査結果と意思決定	千代田化工建設株式会社	濡木 衡
危険物行政の最近の動向について	総務省消防庁	根本 雄
最近の政策動向について	経済産業省 製造産業局	須賀 千鶴

JANDT

22

第21回技術討論会 石油・電力の保守検査における新たな潮流と新技術

討論会 : 118名 懇親会 : 77名
展示 : 4社 概要集広告 : 5社

技術討論会



登壇者 (敬称略)



中村さん



福富さん



濡木さん



根本さん



須賀さん

パネルディスカッション (敬称略)



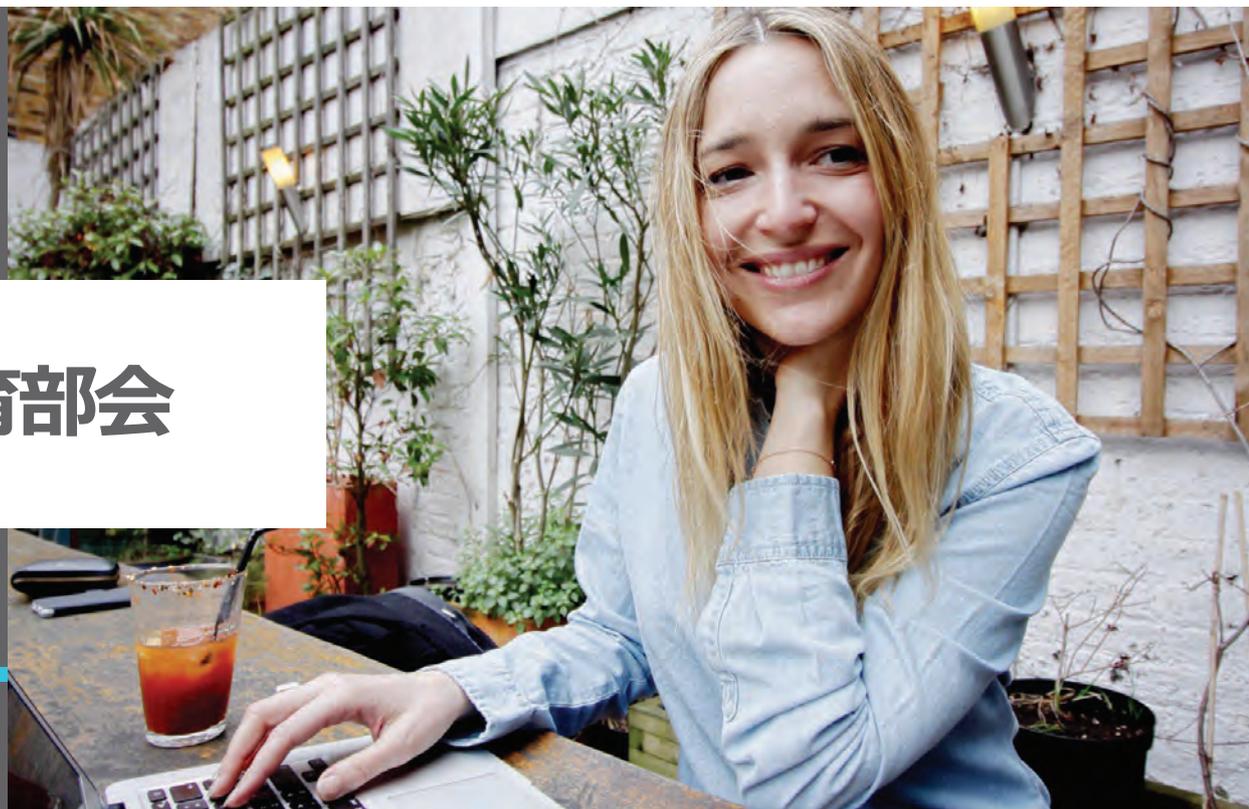
三原さん



懇親会



教育部会



組織と運営

部会・委員会・WG	部会長・委員長	副部会長・副委員長
教育部会	坂本 敏弘	的場 正文、野口 博文
インフラ調査士講習会委員会	平手 克治	的場 正文
配筋探査講習会委員会	清 良平	野口 博文
2305委員会	出牛 利重	

UT 2 受験対策教育

NDI の資格取得を目指す皆さまへ

なかなか合格できない皆さまへ

資格取得の近道は、**受験のための学習**をすることです。

NDI UT-2 受験対策コースは、シラバスに基づいた演習問題とその解説を中心にした計画的な学習プログラムをご提供します。主な特長を以下に示します。

- 都合の良い時間に学習できる **eラーニング形式**を採用しています。
 - 見るだけでなく、音声による耳からの入力で学習効果を高めます。
 - タブレット等の活用で、どこでも学習ができます。
- **演習問題と解説**により知識習得の確認ができます。
- 不得意な分野を**重点的に学習**することができます。
- 期間内で**繰り返し学習**ができます。
- 疑問点に関しては、当工業会が**問合せ対応**をします。
- 講義と演習問題を修了することで、**訓練実施記録（Aコースのみ）**を発行します。

Aコース

春期 5月～9月（申込3、4月）
秋期 11月～3月（申込9、10月）
教育時間 53時間
証明書：訓練実施記録「講義」を発行

Bコース

申込 通年（随時）
教育 20日までの申込みで、
翌月の1日から3か月間受講が可能
証明書：発行せず

配筋探査テキスト改訂

2024年10月版 完成

1. NDIS3429の改訂に伴う見直し
多段配筋の試験，三次元表示による試験，マルチパス方式の試験装置による試験など
2. テキスト内容重複の解消
3. 知るべき知識の偏りの解消

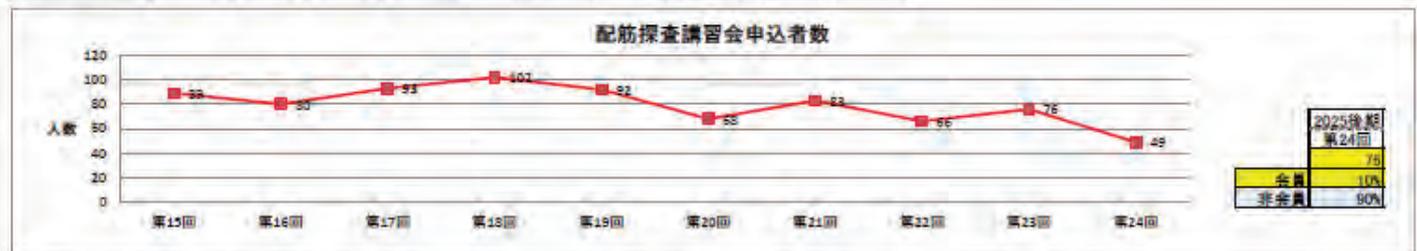
対応策を盛り込んだテキストの完成
2024年10月版



	2021年		2022年		2024年	
	6月	12月	6月	12月	6月	12月
計画						
テキスト執筆						
講習会・試験への反映						

1. 配筋探査講習(eラーニング)の受講申込推移

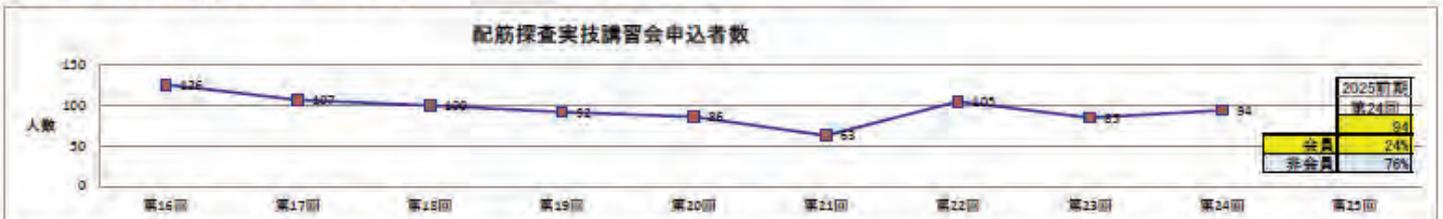
オンライン講習 (eラーニング)	2021前期	2021後期	2022前期	2022後期	2023前期	2023後期	2024前期	2024後期	2025前期	2025後期
	第15回	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回
	89	80	93	102	92	68	83	66	76	49



2. 配筋探査実技講習会の受講申込推移

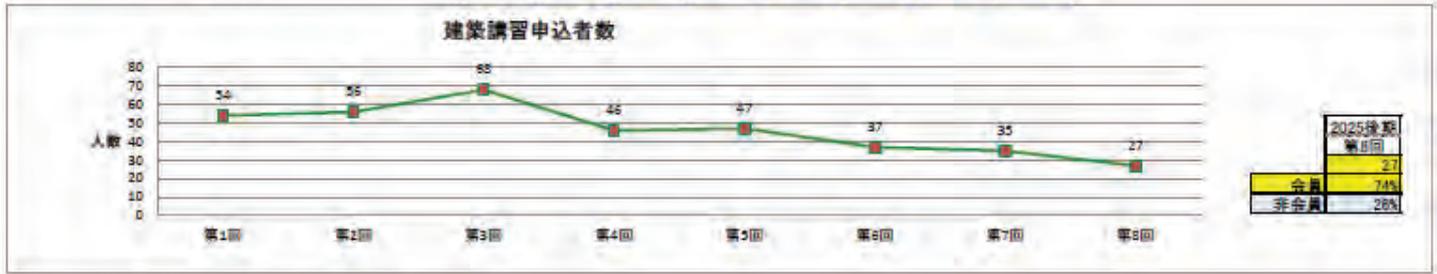
実技講習会	2021前期	2021後期	2022前期	2022後期	2023前期	2023後期	2024前期	2024後期	2025前期	2025後期
	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回
	126	107	100	92	86	83	105	85	94	

* 第8回2017年前期より再認定試験開始のため受講者増



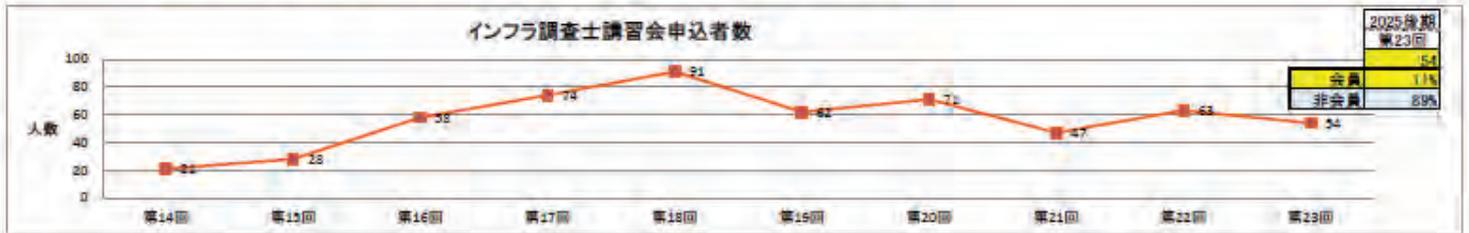
3. 建築学科講習・建築修了試験・建築実技講習の受講申込推移

建築講習	2022前期	2022後期	2023前期	2023後期	2024前期	2024後期	2025前期	2025後期
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
	54	55	68	46	47	37	35	27



4. インフラ調査士講習会の受講申込推移

座学(オンライン)講習会	2021前期	2021後期	2022前期	2022後期	2023前期	2023後期	2024前期	2024後期	2025前期	2025後期
	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回
	21	28	58	74	91	82	71	47	63	54



フッターを追加

JANDT

29

認証部会



JANDT

30

組織と運営

部会・委員会・WG	部会長・委員長	副部会長・副委員長
認証部会	山中 伸晃	木村成晴
認証運営委員会	森本 量也	大西有三、森濱和正
諮問委員会	松村 康人	—
倫理苦情処理委員会	清水 重之	—
内部監査委員会	八木 洋兒	—
査定委員会	相村 英行	—
配筋探査試験委員会	木村 成晴	森濱和正、棚野博之
配筋探査問題管理委員会	澤本 武博	—

組織と運営

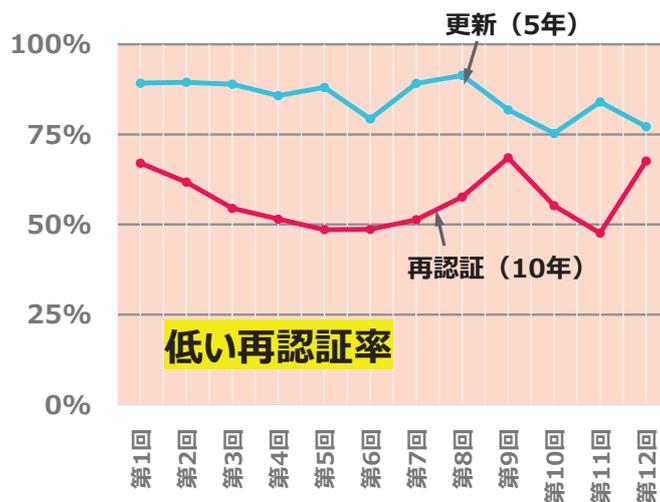
部会・委員会・WG	部会長・委員長	副部会長・副委員長
インフラ調査士試験員会	大西 有三	廣瀬壮一
インフラ調査士問題管理委員会	大西 有三	—
共通問題管理小委員会	澤本 武博	—
鋼橋問題管理小委員会	廣瀬 壮一	—
コンクリート橋問題管理小委員会	辻 正哲	—
トンネル問題管理小委員会	木村 定雄	—
付帯施設問題管理小委員会	佐藤 克己	—
インフラ調査士補試験委員会	澤本 武博	—
インフラ点検技術講演会実行委員会	平手 克治	林 茂央

配筋探査技術者

課題：再認証の低レベル推移



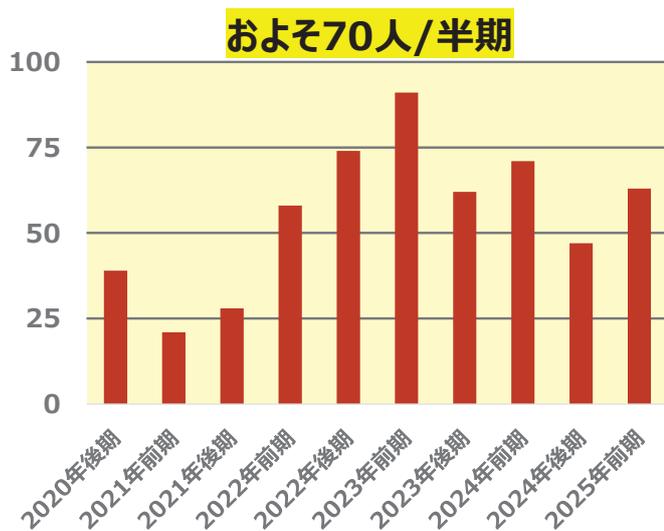
新規受験者の推移



更新・再認証の推移

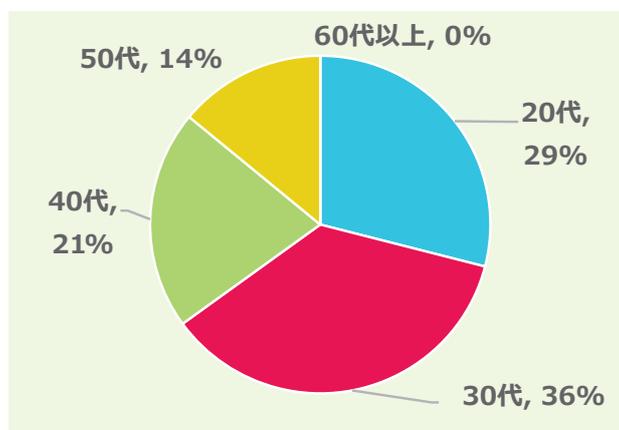
インフラ調査士

課題：新規受験者の伸び悩み



新規受験者の推移

20代、30代で2/3



年代別新規受験者

インフラ調査士補

インフラ調査士【国土交通省登録資格】【民間資格】

【受験資格】

- 道路施設の点検・診断実務経験者
- 非破壊試験関連の資格保有者
 - ・JISZ2305非破壊試験技術者資格保有者
 - ・コンクリート構造物の配筋探査技術者資格保有者
 - ・インフラ調査士補資格保有者

基礎学習

インフラ講習会

学科(一次)試験

実務(二次)試験

登録

ステップアップ



インフラ調査士補【民間資格】

【受験資格】

- 満18才以上

基礎学習

修了試験

登録

一般	78名
教育機関	61名
自治体	19名
合計	158名

予想を超える反響あり

2025年度
10月スタート

第3回インフラ点検技術講演会 報告

開催日時：2025年4月14日（月） 10時30分～17時00分

会場：きゅりあん小ホール（JR大井町駅前）

テーマ：三巡目点検と新技術活用の現状と展望

（敬称略）

テーマ	所属	講演者
道路トンネルにおける三巡目点検に向けた新技術活用の現状と課題	パシフィックコンサルタンツ株式会社 交通基盤事業本部 技術理事	安田 亨
点検業務の効率化に関する新技術およびその適用に関する課題と展望	京都大学名誉教授、ドローン測量教育 研究機構 代表理事	大西 有三
中国地方整備局のインフラ（橋梁）点検診断に係る取り組み	国土交通省 中国地方整備局 中国道路 メンテナンスセンター センター長	鈴木 晃
AI橋梁診断支援システム【Dr.Bridge】を用いた小規模橋梁点検	株式会社日本海コンサルタント 担当技師長（道路）兼 AI技術室 室長	安藤 正幸
法令定期点検三巡目の要領改定と道路構造物技術基準	国土交通省 道路局 国道・技術課	近藤 弘嗣

第3回インフラ点検技術講演会 報告

登壇者の皆さま (敬称略)

テーマ : 三巡目点検と新技術活用の現状と展望

講演会 : 193名

懇親会 : 61名



鈴木さん



安藤さん



大西さん



安田さん



近藤さん



安全部会



組織と運営

部会・委員会・WG	部会長・委員長	副部会長・副委員長
安全部会	猿渡 保	出牛 利重
放射性同位元素等安全管理委員会	釜田 敏光	若林 光治、村上 圭一郎
エックス線安全取扱教育WG	猿渡 保	—
放射線管理手帳発行機関	猿渡 保	—

エックス線安全取扱教育



2025年9月12日

主催 一般社団法人日本非破壊検査工業会
 協賛 一般社団法人日本保健物理学会
 協賛 一般社団法人日本検査機器工業会

第4回 エックス線安全取扱教育講習のご案内 (放射線業務従事者向け)

非破壊検査を目的として携帯式エックス線装置を使用される方を対象に、「透過写真撮影業務特別教育規定」(労告50号)に準拠した講習を開催します。当講習は、専門分野の講師によるeラーニング形式で実施し、作業現場ですぐに使える具体的な知識を中心に講義を進めており、使用時の記録方法や必要な標識等も判り易く説明します。なお、受講修了者には修了証を発行いたします。また、「透過写真の撮影の作業の方法」に照射室に関するコンテンツを追加いたしました。

本講習は、放射線透過写真撮影業務に初めて従事する者の初回講習、放射線業務従事者として概ね5年ごとの定期講習、取扱設備が変わった場合の臨時講習として受講することができます。

講習期間 2025年11月4日(火)～2025年12月31日(水)

申込期日 2025年9月12日(金)～2025年10月17日(金)

受講料 ・ 一般(非会員) 価格: 8,800円(税込)

・ 当工業会会員および協賛団体会員の価格: 4,400円(税込)

申込先 一般社団法人日本非破壊検査工業会

※ 下記 URL または右記 QR コードからお申込みください。



申込み QR コード

第1回講習 2024年4月1日～5月31日
 受講者 122名

第2回講習 2024年11月1日～12月31日
 受講者 111名

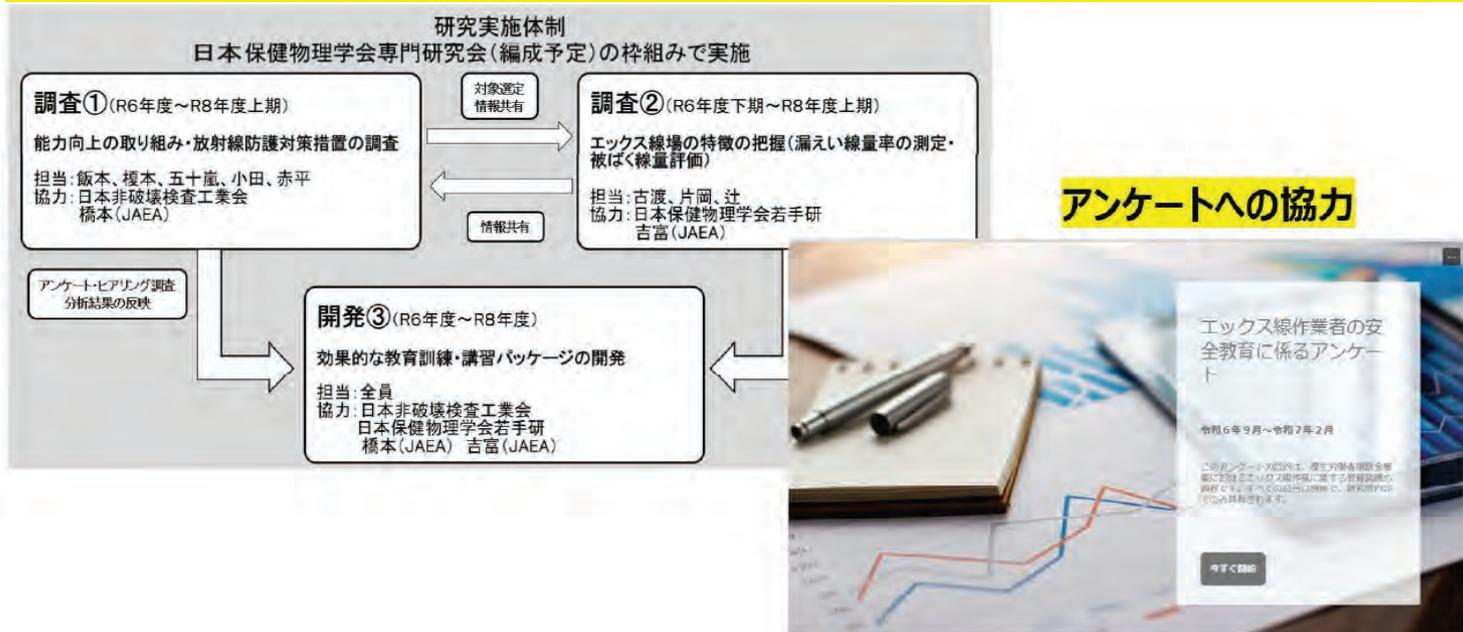
第3回講習 2025年4月1日～5月31日
 受講者 139名

講義内容(学科教育)

(敬称略)

講義内容	時間	講師	所属
関係法令	60分	国立研究開発法人理化学研究所 和光事業所 本部安全管理室 囀 聡 (元原子力規制庁 技官)	杉山 和幸
電離放射線の生体を与える影響	30分	大分県立看護科学大学 准教授 日本保健物理学会 エックス線被ばく事故検討WG 委員	小嶋 光明
エックス線装置の構造及び取扱いの方法	90分	トーレック株式会社 製造販売事業部	松嶋 美乃
透過写真の撮影の作業の方法	90分	株式会社ジヤスコ 技術管理部 部長	馬上 宏之

「エックス線作業主任者等に対する効果的な教育に関する研究」への協力



ありがとうございます

一般社団法人日本非破壊検査工業会

03-5207-5960

<https://www.jandt.or.jp>